

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	○	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	ふるさと応援寄附金推進事業				事業期間	平成23年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	6-5-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	所管課係	総務課庶務係	
目的 (何のために実施するのか)	ふるさと応援寄附金の趣旨を理解してもらうとともに、より多くの方から寄附金として応援をいただくことで歳入の確保を図る。							手段 (どのような方法で実現するのか)	ふるさと応援寄附金に関するPRを情報掲載サイト、啓発チラシ及び市ホームページにより全国に向けた情報発信を行う。 また、寄附者に対して、返礼品を礼状とともに贈る。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	砂川市に寄附された市外在住の方							成果 (どのような効果が得られるのか)	市の歳入確保を図るとともに、返礼品を贈呈、全国にPRすることで、地域経済活性化の一助となる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	本事業の開始以前は、寄附者に対しては礼状のみを送付していたが、平成23年度以降、寄附金のPRや特産品を贈呈することにより、砂川市に縁のある方を中心に寄附への誘導が図られるとともに、寄附者との絆を保つことで継続した寄附につながっている。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計	
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計		
投入された 事業費の 推移	国 費	計 画 額				0				0					0	0	
		予算計上額				0				0					0	0	
		実 績 額				0				0					0	0	
	道 費	計 画 額				0				0					0	0	
		予算計上額				0				0					0	0	
		実 績 額				0				0					0	0	
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0	
		予算計上額				0				0					0	0	
		実 績 額				0				0					0	0	
	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0	
		予算計上額				0				0					0	0	
		実 績 額				0				0					0	0	
	一 般 財 源	計 画 額	208,205,000	208,205,000	208,205,000	624,615,000	586,623,000	586,623,000	586,623,000	1,759,869,000	586,623,000	586,623,000	586,623,000	586,623,000	2,346,492,000	4,730,976,000	
		予算計上額	258,958,000	277,898,000	568,466,000	1,105,322,000	586,623,000	752,528,000	752,528,000	2,091,679,000					0	3,197,001,000	
		実 績 額	240,328,445	585,856,132	583,450,675	1,409,635,252	712,886,675	667,329,539		1,380,216,214					0	2,789,851,466	
	事業費合計	計 画 額	208,205,000	208,205,000	208,205,000	624,615,000	586,623,000	586,623,000	586,623,000	1,759,869,000	586,623,000	586,623,000	586,623,000	586,623,000	2,346,492,000	4,730,976,000	
		予算計上額	258,958,000	277,898,000	568,466,000	1,105,322,000	586,623,000	752,528,000	752,528,000	2,091,679,000	0	0	0	0	0	3,197,001,000	
		実 績 額	240,328,445	585,856,132	583,450,675	1,409,635,252	712,886,675	667,329,539	0	1,380,216,214	0	0	0	0	0	2,789,851,466	
	事業費予算の内容		事務補助員報酬 1,858,000円 期末手当 395,000円 寄附者への謝礼 133,000,000円 消耗品費 30,000円 郵便振込用紙等印刷 109,000円 通信運搬費 19,718,000円 手数料 53,095,000円	事務補助員報酬 1,858,000円 期末手当 349,000円 寄附者への謝礼 162,225,000円 消耗品費 30,000円 郵便振込用紙等印刷 111,000円 通信運搬費 15,116,000円 手数料 59,756,000円 委託料 38,453,000円	事務補助員報酬 1,925,000円 期末手当 376,000円 寄附者への謝礼 315,169,000円 普通旅費 20,000円 旅費費 19,000円 通信運搬費 27,240,000円 手数料 122,117,000円 委託料 101,600,000円		寄附者への謝礼 352,975,000円 普通旅費 20,000円 旅費費 20,000円 通信運搬費 15,795,000円 手数料 133,278,000円 委託料 84,535,000円	寄附者への謝礼 451,128,000円 普通旅費 20,000円 旅費費 20,000円 通信運搬費 22,157,000円 手数料 183,277,000円 委託料 95,926,000円									
			寄附者増による謝礼、業務委託料等の増	寄附者増による謝礼、業務委託料等の増	寄附者増による謝礼、送料、手数料、業務委託料等の増		寄附者増による謝礼、送料、手数料、業務委託料等の増	寄附者増による謝礼、送料、手数料、業務委託料等の増	寄附者確保のため、前年度と同額。								
		前年度予算との比較 (増減理由)															
実績との比較 (増減理由)		寄附者増に伴う謝礼、送料、手数料及び業務委託料によるふるさと応援寄附金に要する経費の増	寄附者数、金額増に伴う謝礼、送料、手数料、委託料によるふるさと応援寄附金に要する経費の増	寄附者数、金額増に伴う謝礼、送料、手数料、委託料によるふるさと応援寄附金に要する経費の増		寄附者数、金額増に伴う謝礼、送料、手数料、委託料によるふるさと応援寄附金に要する経費の増	返礼品数の減および、寄附者減による謝礼、送料、手数料、委託料によるふるさと応援寄附金に要する経費の減										

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：返礼品数				指標の求め方：寄附者への返礼品の数								
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：寄附者数				指標の求め方：1年間の寄附者数								
				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画				第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/回)	計画値	250	260	270		280	290	300		300	300	300	300	
			実績値	250	313	302		396	360							
		成果指標 1 (単位/人)	計画値	9,500	10,000	11,000		12,000	13,000	14,000		14,000	14,000	14,000	14,000	
			実績値	12,522	44,571	42,990		51,472	39,986							
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている				上がっている					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている				上がっている					
		総合評価					極めて良好である				極めて良好である					
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 12社のふるさと納税受付サイトに返礼品を掲載し、着実に寄附者数を増やすことができました。寄附者件数の増加に伴い、業務体制の強化を図るため、ふるさと応援寄附金事業の業務の一部を委託し、事務の効率化を図るとともに、民間事業者のノウハウを活かしながら、情報発信の強化を図ってきたところであります。結果、成果指標を達成することができました。今後も寄附者件数の増加に向け、返礼品の種類を増やすことで、寄附者増加に繋げていきたい。	自己分析： 15社のふるさと納税受付サイトに返礼品を掲載するとともに、新規返礼品提供事業者の参入による新規返礼品の拡充により、大きく寄附者数を増やすことができ、成果指標である10,000人を達成することができました。今後さらなる寄附者件数の増加に向け、返礼品提供事業者や新規返礼品の拡充などにより、寄附者増加に繋げていきたい。	自己分析： 18社のふるさと納税受付サイトに返礼品を掲載するとともに、新規返礼品提供事業者の参入による新規返礼品の拡充により、大きく寄附者数を増やすことができ、成果指標である10,000人を達成することができました。今後さらなる寄附者件数の増加に向け、返礼品提供事業者や新規返礼品の拡充などにより、寄附者増加に繋げていきたい。	判断理由： 活動指標を達成するとともに、業務委託によるノウハウの活用、新規返礼品事業者の拡充により、成果指標を大きく上回ることができた。	自己分析： ふるさと納税の4大サイトを中心に新規返礼品提供事業者の参入による新規返礼品の拡充により、大きく寄附者数を増やすことができ、成果指標である12,000人を達成することができました。今後も安定的な財源の確保ができるよう、さらなる寄附者件数の増加に向け、返礼品提供事業者や新規返礼品の拡充などにより、寄附者増加に繋げていきたい。	自己分析： ふるさと納税の4大サイトを中心に新規返礼品提供事業者の参入による新規返礼品の拡充により、大きく寄附者数を増やすことができ、成果指標である13,000人を達成することができました。今後も安定的な財源の確保ができるよう、さらなる寄附者件数の増加に向け、返礼品提供事業者や新規返礼品の拡充などにより、寄附者増加に繋げていきたい。	自己分析： 判断理由： 活動指標を達成するとともに、業務委託によるノウハウの活用、新規返礼品事業者の拡充により、成果指標を大きく上回ることができた。	自己分析： 判断理由：						
			今後の方向性					拡大				拡大				
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： ふるさと納税の寄附者数を増やすために、新規返礼品提供事業者や返礼品拡充に重点を置いて事業を進めており、令和4年度では、前年度対比で3.5倍強の寄附件数を伸ばすことができました。今後さらに、寄附者数を増やすため、砂川市の魅力や寄附のメリットを広く知ってもらうため、WEB広告の活用などのPR活動を強化していくことから「拡大」とした。				R8： ふるさと納税の寄附者数を増やすために、新規返礼品提供事業者や返礼品拡充に重点を置いて事業を進めており、令和6年度では、前年度対比で約1.2倍の寄附件数を伸ばすことができました。今後、引き続き寄附者を確保するため、砂川市の魅力や寄附のメリットを広く知ってもらうため、イベント出展などのPR活動を強化していくことから「拡大」とした。				R10：					

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：公共建築物の維持保全事業費				指標の求め方：公共建築物の維持保全に係る事業額									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：公共建築物の維持保全実施状況				指標の求め方：計画している維持保全事業実施割合									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第 10 年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/円)	計画値 4,114,000	実績値 3,861,000	計画値 33,716,000	実績値 85,550,520	計画値 71,123,000	実績値 163,724,550	計画値 64,255,000	実績値 73,854,000	計画値 14,850,000	実績値 65,673,000	実績値 65,997,800				
		成果指標 1 (単位/%)	計画値 100	実績値 100	計画値 100	実績値 100	計画値 100	実績値 100	計画値 100	実績値 100							
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている				上がっている						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					上がっている				上がっている						
		総合評価					良好である				良好である						
			自己分析： 計画通りの更新 がなされている。	自己分析： 当初予定していた 更新年度に変更が 生じているが、計画通りの 更新がなされている。 【計画年度繰下】 ・北勤労者福祉 会館暖房器→R5 年度以降 ・保育所LED 改修（空知太） →R5年度以降 ・ふれあいセン ター暖房器・床 →R5年度以降 ・旧オアシスゴ ルフ場管理棟2 解体→R5年度 【計画年度繰上】 ・ふれあいセン ター屋上防水改 修→R6年度より 変更 ・分庁舎暖房器 →R5年度より 変更	自己分析： 前年度の計画年 度繰下分の事業 実施（ふれあい センター空調設 備）もあり、計画 通りの更新がな されている。	判断理由： 利用予定のない ものについては 解体をすすめ、 計画掲載事業に ついては後年次 になったとしても 着実に実施されて いることから、計画 はほぼ達成されて いると判断した。事業 費実績が予定より 膨らんでいる傾向 がある。	自己分析： 計画通りの更新 がなされている。	自己分析： 計画通りの更新 がなされている。	自己分析： 計画通りの更新 がなされている。	判断理由： 計画掲載事業に ついては、着実に 実施されていること から、計画は達成 されていると判断 した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
		今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 公共施設等が耐用年数を迎え、多額の建替・改修費用が見込まれており、今後も長寿命化や活用する施設の見極め、適正配置を図るとともに、跡地活用などについても考慮した上で施設の方向性を決める必要がある。 また、小中学校の統廃合により大規模な未利用地が生じるため、跡地活用について早急に検討を進めていく必要がある。				R8： 計画的な修繕工事等を行い、安全かつ良好な状態で適切な維持管理が行われているが、耐用年数を迎える施設もあることから長寿命化や活用する施設の見極め、適正配置を図っていく必要がある。				R10：						

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：—	指標の求め方：活動指標の設定が困難であることから設定しない
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：—	指標の求め方：成果指標の設定が困難であることから設定しない

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/)	計画値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			実績値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		成果指標 1 (単位/)	計画値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			実績値 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				—				—						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				—				—						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない						
		総合評価				良好である				良好である						
			自己分析： 適正な財産管理 を行うため計画的な更新がなされている。	自己分析： 市長車の損傷により、更新年度が早まったが、適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	自己分析： 適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	判断理由： 計画的な更新を行い、公用車に係る費用負担の平準化が図られている。	自己分析： 適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	自己分析： 適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	自己分析： 適正な財産管理を行うため計画的な更新がなされている。	判断理由： 計画的な更新を行い、公用車に係る費用負担の平準化が図られている。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 年数経過により車両の設備故障が頻繁に生じる車両も出てきており、短期間でも使用困難となる事案が出てきていることから、経過年数にとらわれず、車両の状態を考慮しながら計画的に車両を更新することが必要である。また、市の公用車として環境配慮車の配置についても検討していく。				R8： 現状のまま継続することで、適正な公用車管理が行える。令和6年・令和7年には環境配慮車の導入も進み、今後も使用状況を考慮し配置を検討していく。				R10：					